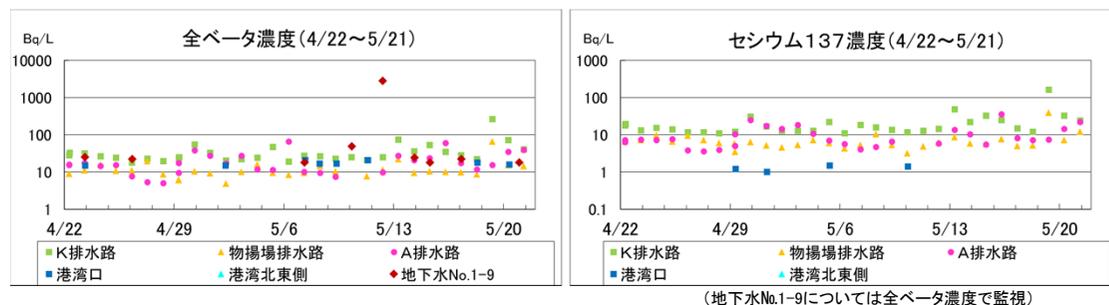


- 4月30日より開始した放射線データの公開において、「日々の放射性物質の分析結果(新たに公開を開始)」と「周辺の放射性物質の分析結果(従来から公開)」のデータは、あわせて約3,000件(4月30日～5月27日)となりました。
- この間、外部環境に対し、影響を与えるような有意な変動はありませんでした。
- また、5月15日から、1号機原子炉建屋カバー解体に着手し、屋根パネル貫通による飛散防止剤散布を5月15日から20日に実施しました。この間、構内のモニタリングポストやダストモニタの測定値に有意な変動はありませんでした。

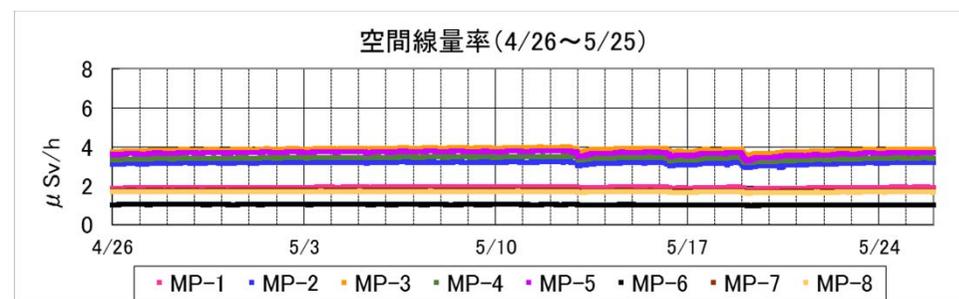
A 水(海水、排水路、地下水等)

・一時的に上昇したデータが見られるが、トラブル等はなく、有意な変動はない。



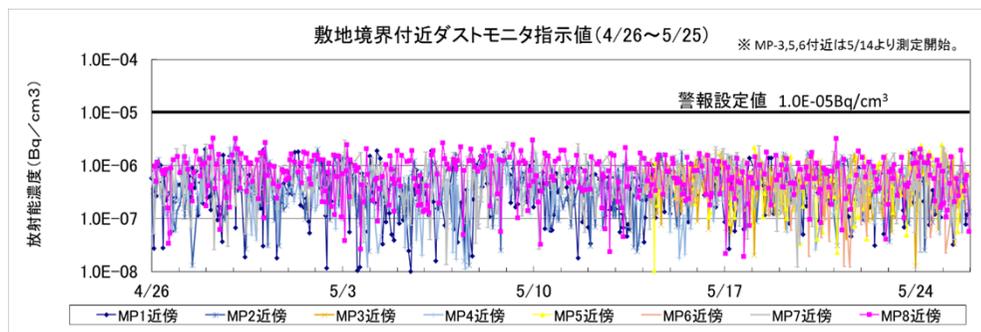
B 空間線量率

・安定しており、有意な変動はない。



C 空気中の放射性物質

・大きな上昇はなく、有意な変動はない。



データ採取位置図(右のA、B、Cに対応するポイント)